

アレルギー性疾患に関する3歳児全都調査
(平成16年度)

報告書

平成18年3月



東京都福祉保健局

R100

リサイクルマーク

はじめに

近年、アレルギー性疾患患者が増加しており、社会的にも大きな問題となっています。

東京都ではアレルギー性疾患患者の実態を把握するため、平成 11 年に 3 歳児を対象にアレルギー性疾患に関する調査を行いました。この調査では、都における 3 歳児のうち、3 歳までに何らかのアレルギー性疾患の症状があった者が 5 人に 2 人ということが判明し、アレルギー性疾患対策の重要性が確認されました。その結果を受け、東京都ではアレルギー性疾患対策検討委員会により「都におけるアレルギー性疾患対策の在り方最終報告」を平成 13 年に作成し、様々なアレルギー性疾患対策に取り組んできました。

今回、前回の調査から 5 年間を経過したため、アレルギー性疾患についての最新の状況を把握することを目的として、再度、3 歳児の全都調査を行いました。

この調査により、何らかのアレルギー症状のあった者が前回調査より増加していることや、食物アレルギーの症状をもつ者の食事の制限・除去の状況、アレルギー対策に関するニーズなどの新たな知見が得られました。今回明らかになったアレルギーの現状を今後の都におけるアレルギー性疾患対策に、有効に活用していきたいと考えております。

各区市町村や関係機関の方々にも、アレルギー性疾患対策をすすめていく際の基礎資料として役立てていただければ幸いです。

最後になりましたが、調査に御協力いただきました対象者及び家族の方々、区市町村の関係者に心から感謝を申し上げます。また、本報告書をまとめるにあたり、御指導いただきました東京都アレルギー性疾患対策検討委員会の委員の皆様並びに国立保健医療科学院曾根智史公衆衛生政策部長に、厚くお礼申し上げます。

平成 18 年 3 月

東京都福祉保健局健康安全室

環境保健課長 森 由子

<目 次>

調査概要	1
第1章 調査の目的及び方法	
(1) 調査の目的	6
(2) 調査の方法	6
① 調査対象と方法	6
② 調査項目	6
③ 調査上の分類と定義	7
第2章 調査結果	
(1) 対象者の概要	10
(2) アレルギー性疾患の状況	12
① アレルギー性疾患の罹患状況	12
② アレルギー性疾患の合併	13
③ 親のアレルギー性疾患の罹患状況	14
④ ぜん息・ぜん鳴の症状と診断	15
⑤ ぜん息の重症度分類	16
⑥ ぜん息の発症、診断の時期	17
⑦ 食物アレルギーの症状と診断	18
⑧ 食物アレルギーの発症、診断の時期	20
⑨ 食物アレルギーの原因食物	21
⑩ 食物アレルギーで出現した症状	22
⑪ 食物アレルギーに対する制限・除去食への対応	23
⑫ アトピー性皮膚炎の症状と診断	24
⑬ アレルギー性鼻炎の症状と診断	25
⑭ アレルギー性結膜炎の症状と診断	26
(3) 生活環境及び生活習慣	27
① 寝室の床の材質	27
② 寝室の床の掃除頻度	29
③ 寝具の天日干し、布団乾燥機かけの頻度	30
④ 室内の定期的な換気	31
⑤ 家の造り	32
⑥ 同居人の喫煙状況	33
⑦ 授乳方法	35
⑧ 保育園・幼稚園の通園状況	38
⑨ 室内におけるペットの飼育状況	41
(4) アレルギー性疾患に関する意見・要望	42
第3章 調査のまとめ	
(1) アレルギー性疾患の罹患状況	46
(2) 生活環境及び生活習慣	47
(3) アレルギー性疾患に関するニーズ	48
(4) 今後の課題	48
(資料) 統計表一覧	49
(資料) 調査票	63

